

公衆無線LAN環境整備事業委託業務公募型プロポーザル実施要領評価基準

1 評価方法

評価は上天草市公衆無線LAN環境整備事業業務受託候補者選定審査会で行う。本業務は専門的な知識や技術力が求められることから業者選定にあたっては、客観的かつ公正に審査できるように第一次審査及び第二次審査を実施する。

2 企画提案の評価の観点

(1) 第一次審査

- ア 審査委員会は第二次審査参加資格者を選出するため、提出書類について、第一次審査評価基準に基づき第一次審査を実施する。
- イ 第一次審査の評価項目、評価基準は表1のとおりとする。
- ウ 審査は、各委員が企画提案者ごとに、評価項目に対して評価点を付与する。
- エ 第一次審査においては、各委員の合計得点を合算した総得点の上位2者を第二次審査参加資格者として選定する。総得点が同点の場合は、機器性能調査表による評価点の高い参加者を上位として選定する。機器性能調査表による評価点が同一の場合は、委員長の決するところとする。
- オ 第一次審査の概要は以下のとおりとする。
 - (ア) 企画書に対する審査 30分以内（企画提案者は別室にて待機）
 - (イ) 質疑応答 15分以内

(2) 第二次審査

- ア 委員会は本業務の業者受託候補者を選定するため、プレゼンテーション及びデモンストレーションによる第二次審査を実施する。
- イ 第二次審査の評価項目及び評価基準は表2のとおりとする。
- ウ 第二次審査の概要は以下のとおりとする。
 - (ア) 準備 10分以内
 - (イ) 提案書等に関するプレゼンテーション及びデモンストレーション 30分以内
 - (ウ) 質疑応答 10分以内
 - (エ) 片付け 10分以内
- エ 各委員の評価点について、合計得点を合算し、これに第一次審査結果を加えた総得点が最も高い参加者を受託候補者として決定する。なお、総得点が同一の場合は性能調査表による評価点の高い参

加者を上位として選定する。性能調査表による評価点が同一の場合は、委員長の決するところとする。

オ プレゼンテーション及びデモンストレーションに使用する、パソコン、プロジェクター、スクリーン及びインターネット回線（無線）は本市が準備する。その他必要な提案書の電子データ及び機材等は企画提案者が準備するものとする。

3 配点

配点については次のとおりとする。

・ 第一次審査 800点

・ 第二次審査 200点

計 1,000点

表 1

第一次審査評価基準

評価項目		評価基準
① 提 案 書	本業務に関する基本的な考え方	・ 本システムの構築を実現するに当たっての留意点や重点箇所が明確となっており、本市に有益であるか。
	システムの構成	・ 本システムの稼働に必要な機器や環境条件が明らかになっているか。
	拡張性	・ サービスの質の向上や利用促進に優れた拡張性があるか。
	利便性	・ 利用者に対して効果的に情報配信できる仕組みとなっているか。
	信頼性・安全性	・ セキュリティを確保する手法に実現性があり、本市に適した手法であるか。
	可用性・耐障害性	・ 障害発生時でも影響を最小限にする仕組みが提案されているか。 ・ バックアップ/リカバリーの仕組みや手順がシンプルで、障害時のダウンタイムが最小限になるような構成になっているか。
	事業管理・実施体制	・ 事業管理の考え方や仕様確定手法・業務分析に実現性があるか。 ・ 期間内に無理なく整備完了できるスケジュール構成になっているか。
	運用・管理	・ システムを管理する職員に対してシステムの操作方法・教育に関する研修計画があるか。 ・ 操作方法等に必要なマニュアル類があるか。 ・ アクセスポイントの管理など本市の職員に対する負担が少ない運用となっているか。 ・ システムの運用負荷を軽減し、効率的な運用が図れるような構成になっているか。 ・ 認証方法、利用者への日時制限及び緊急時の設定切替えなどが容易な仕組みになっているか。 ・ ログ等の取得が容易になっているか。
	将来性に対する考え方	・ 本市からの要求以外の追加提案があり、かつ、その内容が本市に有益であるか。

② 履行実績	過去5年分の類似業務の実績は十分か。
③ 機器性能	「機器性能調査表」の回答に基づき評価点を与える。

表 2

第二次審査評価基準

評価項目		評価基準
① プレゼンテーション	事業目的	本業務の目的、必要性等に十分理解があり、提案の基本的な考え方及び取組み方針が妥当であるか。
	本業務に関する基本的な考え方	本システムの構築を実現するに当たっての留意点や重点箇所が明確となっており、本市に有益であるか。
		本市にとって有益となるような平時活用の具体的な提案がされているか。
	システムの概要	提案するプロジェクト管理手法に精通し、本業務を十分に理解しているか。
		- 提案するシステムのコンセプトや特徴が本市にとって有益であるか。 - 本業務に対する業務意欲が感じられるか。
	将来性に対する考え方	将来性を見据えたうえで、本システムの有効的な活用方法が提案されているか。
②デモンストレーション		システムの操作が誰もが使いやすく、容易な操作性となっているか。
		認証画面等の画面構成は見やすい工夫などがされているか。
		システムのアピール機能や便利機能など具体的な提案がされているか。
③資料調達力		提案内容が明確にまとめられているか。